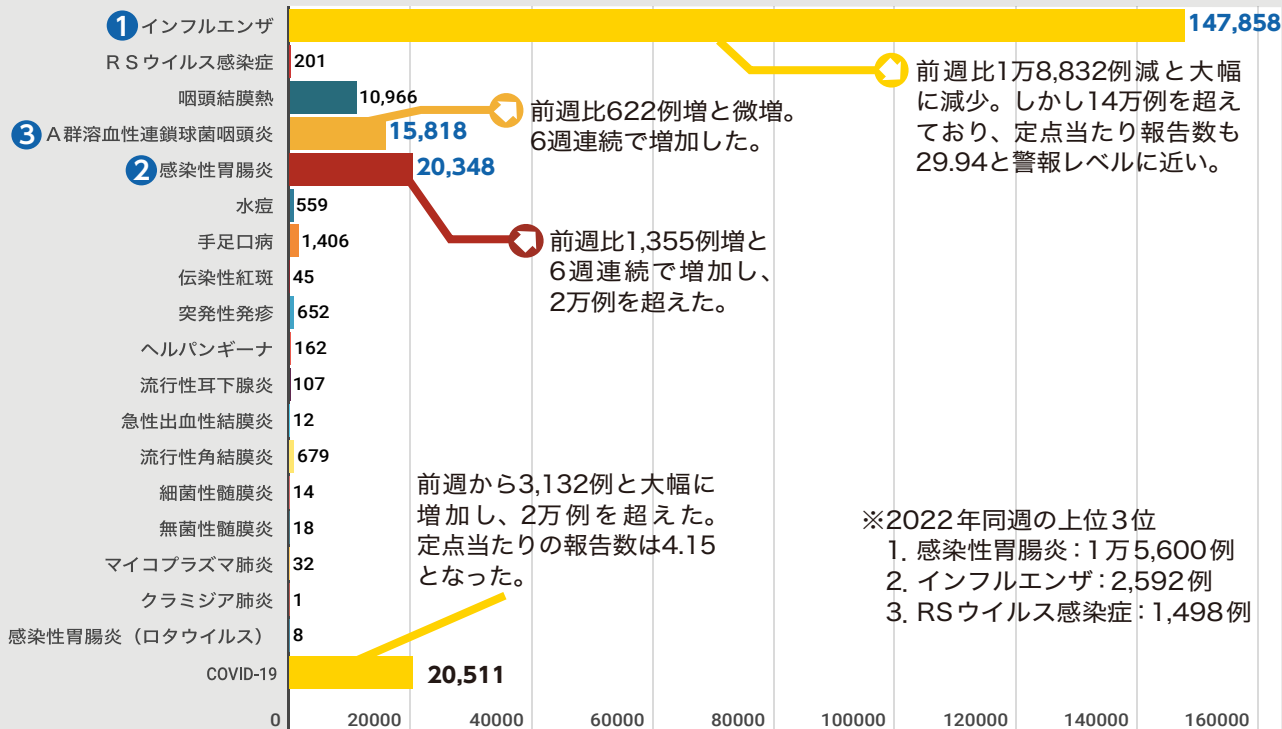


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

コロナと感染性胃腸炎が2万例突破

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① インフルエンザ

報告数

- 北海道: 1万678例
- 神奈川県: 8,679例
- 東京都: 8,477例

定点当たりの報告数(29.94)

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. 大分県: 55.17 | 4. 北海道: 47.25 | 7. 福岡県: 37.82 | 10. 群馬県: 35.40 |
| 2. 宮崎県: 53.26 | 5. 三重県: 41.28 | 8. 鹿児島県: 36.90 | 11. 富山県: 34.27 |
| 3. 宮城県: 49.13 | 6. 熊本県: 39.06 | 9. 長野県: 35.51 | 12. 山口県: 34.18 |

② 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 2,676例
- 神奈川県: 1,948例
- 埼玉県: 1,478例

定点当たりの報告数(6.48)

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 大分県: 12.75 | 4. 熊本県: 10.22 | 7. 埼玉県: 9.01 | 10. 石川県: 8.41 |
| 2. 香川県: 10.43 | 5. 宮崎県: 9.31 | 8. 神奈川県: 8.62 | 11. 福岡県: 8.13 |
| 3. 東京都: 10.25 | 6. 愛媛県: 9.30 | 9. 山梨県: 8.46 | 12. 徳島県: 8.09 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 東京都: 1,579例
- 埼玉県: 1,318例
- 神奈川県: 1,126例

定点当たりの報告数(5.04)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 9.32 | 4. 福岡県: 8.19 | 7. 愛媛県: 6.89 | 10. 高知県: 6.19 |
| 2. 富山県: 8.66 | 5. 山形県: 8.11 | 8. 茨城県: 6.85 | 11. 石川県: 6.14 |
| 3. 千葉県: 8.30 | 6. 埼玉県: 8.04 | 9. 宮崎県: 6.58 | 12. 東京都: 6.05 |

今週の感染症動向

インフルエンザは前週から大幅に減少したが14万例を超え、定点当たりの報告数も29.94と警報基準値(30.00)に近い。地域別に見ると、大分県の55.17を筆頭に23道県が警報レベルを超え、3週連続で沖縄県以外の地域が注意報レベル(10.00)を上回っている。

感染性胃腸炎、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎はいずれも6週連続で増加。前者は第22週(5月29日～6月4日)以来、半年ぶりに2万例を超え、後者は鳥取県(9.32)をはじめ6県が警報レベル(8.00)を超えた。咽頭結膜熱は警報レベル(3.00)超えが27都道府県に拡大。中でも福井県(7.88)、北海道(7.51)、佐賀県(6.26)はかなり多い状態にある。

COVID-19は6週連続で増加し、2万例を超えた。昨年同週の新規陽性者数7万7,256例と比べると少ないものの、他の感染症も増加傾向にあることから、年末年始の帰省や旅行、会食時などの感染対策が求められる。